

はか せ
カエルくん と アキツノイケ 研究所の ウサギ博士

お はなしのはじめに

国立環境研究所構内の森の中では、動物たちが仲良く暮らしています。森の中には秋津ノ池という小さな池があり、その池のほとりにはウサギ博士が勤務するアキツノイケ環境研究所があります。近所の小学生のカエルくんはウサギ博士と大の仲良しで、きょうもおしゃべりに来ているのでした。



(4°Cコース マス番号 66)

釣った魚で食中毒になった。 - 400



カエルくん

タヌキおじさんが海釣りに行って、珍しい魚が釣れたんだって。それで焼き魚にして食べたんだけど、お腹が痛くなって入院しちゃった。来週やっと退院できるって。



ウサギ博士

タヌキさん、せっかく木の船を新調したのについてなかったね。
 温暖化が進むと海が温かくなって、今まで南の海にしかいなかった毒のあ
 る魚が北まで上ってくるようになるんだ。
 毒の中には焼いても消えないものがあるから怖いんだよ。



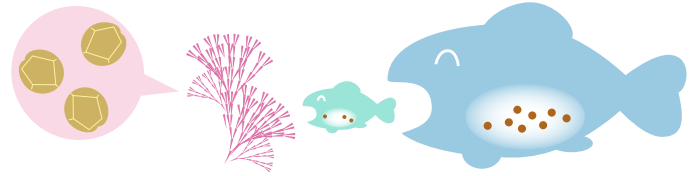
カエルくん

それじゃあ釣りに行ったら、今まで見たことがない珍しい魚は食べないよ
 うにすれば大丈夫だね。



ウサギ博士

それがそうとばかりも言えないんだ。温かい海には毒を持ったプランクト
 ンが海藻に付いたりすることがあって、それを食べた魚が毒をもつよう
 になる。温暖化でその毒を持ったプランクトンも北の方まで広がってくるか
 もしれないんだ。



カエルくん

大変！その毒のプランクトンを食べたらこの辺の海の魚でも毒をもつよう
 になるかもしれないってこと？



ウサギ博士

そうなんだ。ただ、ほとんどの魚は安全だし、毒を持つことが多い魚の種
 類もわかっているので、お店では気を付けて売らないようにしているんだ
 よ。少なくとも自分で釣った魚は毒を持っているか見分けることがむずか
 しいので、気を付けた方が良いね。